

ヤンバルアワブキ

がくめい
学名 Meliosma oldhamii

か めい
科名 アワブキ

べつ めい
別名 フシノハアワブキ、
リュウキュウアワブキ



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 やまぐちけん つしま あまみおおしま おきなわほんとう いりおもて
山口県、対馬、奄美大島、沖縄本島、西表
島等

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい
長楕円形

は ふち
葉 の 縁 きよし
鋸歯

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい
葉 の 種類 きすう うじょうふくよう
奇数羽状複葉

は つきかた
葉 の 付方 ごせい
互生

は き ぶ
葉 の 基部 くさびがた
形

み しゅるい
実 の 種類 かくか
核果

は な がくいろ
花・萼色 しろいろ
白色

せつ
説
めい
明

山地の日光当たりの良い谷筋などに生育し、高さ 20m に達する落葉・半常緑の高木で、樹皮は褐色をしています。葉は小葉が 9枚から 15枚、葉先の半分に低い鋸歯があり、葉柄を含め長さ 15-30 cm です。枝先に大型の円錐花序の白い花が咲きます。実は核果で球形、径 5 mm ほどで熟すと赤くなります。